北九州市立則松中学校

【学校ホームページアドレス】
www.kita9.ed.jp/norimatsu-j

ジャガイモ

校長通信　No.２５１

令和５年　４月１８日

「 集大成の年② 」

校長　江　口　　満

**「規矩作法　守り尽くして　破るとも
離るるとても　もとを忘るるな」**

【意味】　規矩（きまりやてほん）や作法を守り尽くした挙句、それらを破ることになったり、それから離れることになっても、元を忘れてはならない。

「守」…　ひたすら教えやきまりを守り、行動を見習う段階。これが出来るようになると、教えやきまりに疑問を感じるようになると次の段階へ進む。

「破」…　この段階は、既存の教えやきまりを破る段階。教えを守るだけではなく独自の工夫を行い、教えにはなかった方法を組み込んでみる。

「離」…　独自の工夫が、それまでの教えやきまりを乗り越えて、新しい教えやきまりを確立する。

茶道の創始者で桃山時代の有名な人物、千利休（1522～1591）の精神を伝える「利休百首」という歌の中に残されている一首「守破離」

【前号からの続き】生徒の皆さんが和楽器の演奏を体験している姿や箏曲部を取材している時、茶道の創始者で桃山時代の有名な人物、千利休（1522～1591）を必ず思い出します。彼の精神を伝える「利休百首」という歌の中に、次のような一首が残されているからです。

「規矩作法　守り尽くして　破るとも　離るるとても　もとを忘るるな」

意味は左のようになります。そして芸能や武道など、その道を極める時に良く耳にする言葉「守・破・離」は、この歌から生まれたそうです。

まずはひたすら教えやきまりを守り、行動を見習う。これが出来るようになると、教えやきまりに疑問を感じるようになり、既存の教えやきまりを破る段階に進む。教えを守るだけではなく独自の工夫を行い、教えにはなかった方法を組み込む。その独自の工夫が、それまでの教えやきまりを乗り越えて、新しい教えやきまりを確立する。

このように、きまりや作法を次の世代に「守・破・離」で育てる。これを繰り返すことで、伝統は昔から代々受け継がれていくことになります。

しかし、「決められたことを決められたとおり実行する」ことばかりに専念すれば、新しい文化や伝統は生まれません。「もとを忘るるな」は基本となる「こころ」を忘れるなであって、基本となる「形」にこだわることではないとも言われています。つまり、伝統は、工夫が加わって次第に良いものだけが残されていくということなのです。伝統は常に同じものではなく、変化していっているのです。

昨年度二年生や六組の皆さんが植えた花々も優しく皆さんを出迎えてくれます。校務員のＩ先生が丹精込めて世話をしてくださる正門前、満開の花々。

半世紀の間、本校が受け継いできた「伝統」。この「伝統」を守りながら、新しく独自の工夫を加え、それを繰り返す。そして今までの伝統を越える独自の文化を創り出していく。

【上】4月3日(月)本校に着任された7名の先生方。本校集大成の年に、新しい教育の風を起こしてください！
【右・次頁】2月10日(金)PTAのご支援で毎年行われる和楽器演奏会の様子。箏曲部のご指導いただいている箏曲生田流筑紫会大師範黒岩香代子先生を中心とした和楽器演奏家にお越しいただき、「六段」「春の海」「飛鳥伝説」「コンドルは飛んで行く」「アメージンググレイス」「編曲元禄花見踊」を演奏してくださいました。箏曲や三味線などの演奏体験学習を通して、美しい音色を出すことの難しさを知っている生徒の皆さんは、和楽器演奏の迫力を肌で感じることができました。

伝統は守るものではなく、伝統は作るもの。さらに、伝統は作られていくものです。古き良き伝統は守りつつ、新しいことに挑戦していくことが大切なのです。

本年度本校は、「集大成の年」を迎えます。この「集大成の年」、生徒の皆さんとの新たな挑戦が始まります。

全校生徒の皆さんの素晴らしい力を信じています。

※進級した二、三年生、入学した一年生の皆さんの作文を連載します。

「悔いのないように一日一日を大切に」
３年３組　Ｈさん

私の三年生の目標は、受験生なので勉強はもちろん、自分がしている習い事も両立することが目標です。一、二年生の時は、予習・復習を全くしていなかったのと、提出物を前日にバタバタ終わらせていたので、ちゃんと計画を立てて取り組んでいきたいなと思います。

また習い事では、昨年成しとげることができなかった全国大会出場を目標に、日々練習を積み重ねて頑張りたいです。３月に行われた西日本大会では準優勝を抜け出せず、三回連続準優勝になってしまいました。練習した成果を発揮できず、何がしたいのか全く分からない演技になってしまい、練習が足りなかったのだと、私は打ち砕かれました。ですので西日本大会で優勝することも目標に頑張っていきたいと思います。

中学校生活最後の一年なので、悔いのないように一日一日を大切にして過ごしていきたいと思います。

「楽しい中学校生活を送る」　３年３組　Ｈさん

中学校に入学し、「これから三年間か。長いなー。」と思っていたけれど、いつの間にか三年生になっており、正直今もびっくりしています。三年生になってクラス替えがあり、一年生のときのような明るいクラスになったのでうれしかったです。新しい教科書も配られ、その中で数学の教科書を見ると、私は絶望しました。意味不明な公式やルート、円の中に何個かある三角形。見たことがない生物を見た時のような気持ちになりました。これを覚えて理解していかなくてはならないのを想像すると、鳥肌が立ちました。けれど入試に備えて切り替え、一、二年の復習もしつつ基礎を固めていけるようにがんばろうと思います。分からないところは放置せず先生に聞きに行き、応用も完璧にしたいです。行ける高校ではなく、行きたい高校に行けるよう努力していきたいです。

4月7日（金）着任式で新しく来られた先生方に挨拶する生徒会長Ｕさん

3月28日（火）春休み期間中、校務員のＩ先生のご指導のもと、校庭やグラウンドに溜まった側溝の土砂を撤去する野球部の皆さん。積極的なボランティア活動、ありがとうございました。

勉強はきついですが楽しみなこともあります。それは修学旅行です。三日も友達と色んな所を見て回れるのがとても楽しみです。修学旅行が終わるとまた勉強モードに切り替えなければいけないので、楽しめるところは思いっきり楽しもうと思います。体育祭や文化祭も自分が出せる最大の力を出して、クラスの人と協力できたらいいなと思います。

私の目標は高校合格と英検合格です。もっと勉強しておけばよかったと後悔しないような楽しい中学校生活を最後に送れたらいいなと思います。部活でも後輩を引っ張っていけるようにがんばります。H先生、一年間よろしくお願いします。

4月7日（金）始業式後、新しい担任の先生とクラスの仲間との出逢い。
新３年３組の学級開きの様子。